

強毒性のマラリア原虫では、TJ-48およびG-CSFの感染への影響は全く認められなかった。

2. 肩こりの3例

(東洋医学研究所)

中野頼子・溝部宏毅・新井 信・
佐藤 弘・代田文彦・白坂龍嶺

肩こりはさまざまなタイプがあるが、今回その中で葛根湯、半夏瀉心湯、柴胡桂枝湯の有効であった肩こりを報告する。

〔症例1〕44歳、男性、首筋のこりと膝関節痛があり、ツムラ葛根湯を投与したところ2週間でこりはほとんどよくなった。首筋から縦方向へのこりに葛根湯は有効である。

〔症例2〕61歳、女性、胃の痛みがあると肩こりがよけいにひどくなるという訴えにツムラ半夏瀉心湯を投与し、約3カ月で肩こりが全くなかった。心下痞のような胃部症状のある肩こりに半夏瀉心湯が有効である。

〔症例3〕50歳、男性、肩こりを主訴とし腹診で胸脇苦満を認めたため、ツムラ柴胡桂枝湯を投与したところ約1カ月で肩こりはほとんどなくなった。柴胡剤は胸脇苦満があり肩から腕への横方向のこりに有効である。

3. 腰部脊柱管狭窄症に対する牛車腎気丸の使用経験

(整形外科)

池田和男・豊島弘道・
黒須悦樹・伊藤達雄

我々整形外科医が日常診療でよく遭遇する腰部脊柱管狭窄症患者に対する保存的治療、ことに薬物による治療には限界がある。

漢方薬の証に基づいた処方是我々西洋医学を基本としてきた整形外科医にとってはなじみが薄く、現実には応用しづらい面があるが、今回我々は本症を呈する高齢患者32例に対し腰痛、下肢痛、しびれに効果があるとされている牛車腎気丸を使用し、優れた臨床効果が得られたので報告する。

〔症例と方法〕症例は臨床症状ならびにX線所見などより本症と診断された32例(男性5例、女性27例)で、平均年齢は69.8歳であり、明らかに手術的治療の対象となるものは除外した。牛車腎気丸エキス顆粒を1日7.5g分3で8週間投与し、投与前後の症状を日本整形外科学会腰痛疾患治療成績判定基準(JOAスコア)を用いて、また患者満足度アンケート結果を参考にして効果判定を行った。

〔結果〕JOAスコアに基づく自覚症状の項目の内、腰痛、下肢痛あるいはしびれに関しては約半数の症例に効果が見られたが、歩行能力の低下に関してはあまり効果が見られなかった。ADLの項目に関しては、重量物挙上困難が改善されにくかったが、他の項目に関してはほぼ満足できる効果が得られた。他覚所見に関しては、全般的に改善効果に乏しかった。これらJOAスコアの全般改善度はやや改善以上が72%で、患者満足度を調べたアンケート結果の何らかの満足感を得たものが75%であったのとよく相関した。また本剤服用による副作用は、便秘が1例にみられたのみであった。

本症は脊柱老化の問題と深く関わっており、高齢化社会の中にあって今後ますます重要視される疾患である。本症重症例では、保存的治療には限界があり、我々整形外科医は手術的治療を選択することが多いが、他覚的所見に乏しく、ADL障害、並びにしびれ感を訴える軽症例においては本剤は有効な治療剤であるといえる。漢方医でない我々整形外科医にとって漢方薬の使用には躊躇があるが、本剤の使用は、腰部脊柱管狭窄症の軽症例、並びに高齢者ではまず選択肢の一つと考えてよく、副作用も少なく安全性の高い薬剤であるため、長期運用も可能と思われる。

4. 黄斑浮腫に対するツムラ柴苓湯の効果

(眼科)

高橋義徳・小暮美津子

種々の疾患による黄斑浮腫は一般に予後不良で難治である。今回、我々は22歳から87歳までの男性30人、女性28人の計58人の蛍光眼底造影で黄斑浮腫を有する症例に、ツムラ柴苓湯エキス顆粒9g 1日分3で12週以上投与した。黄斑浮腫の原因は網膜静脈閉塞症、ぶどう膜炎、中心性網脈絡膜症、糖尿病性網膜症、白内障術後などであった。

黄斑浮腫が片眼のもの47人、両眼のもの11人の計69眼で、視力の改善は12週後で69眼中25眼36%、6カ月後で56眼中16眼29%、12カ月後で45眼中15眼33%にみられた。カルナクリン、アドナ等の他剤併用は54人、全く併用しないものは4人であった。また投与中、投与後に副作用を認めたものはなかった。

柴苓湯は浮腫、下痢、急性胃腸炎などの症状を改善させることが知られている五苓散と小柴胡湯の合剤である。今回種々の眼科疾患の黄斑浮腫に有効であり、黄斑浮腫の改善は約30~40%、悪化は約10%であった。

5. 慢性腎不全に対する進行抑制効果からみた柴苓湯と当帰芍薬散の使い分け

(腎臓病総合医療センター)